

学研労協 NEWS ニュース

つくば中央メーデーとは

メーデーのはじまりは1886年5月1日にアメリカのシカゴで、8時間労働を要求するストライキが行われたことにさかのぼります。日本では1920年に第1回メーデーが東京の上野公園で行われました。つくば中央メーデーはつくば市と近隣域の労働組合等が協力して、労働者の権利を主張し、団結と連帯を示す日として、毎年5月1日に集会とデモ行進を行っています。

第95回つくば中央メーデー参加報告

日時：2024年5月1日 9時～11時

場所：つくば中央公園

主催：第95回つくば中央メーデー実行委員会

2024年5月1日、私たちの街、つくばにおいて、第95回つくば中央メーデーが開催されました。記録に残る限り最も天候の悪い中での開催となりましたが、172名の参加者がつくば中央公園に集まり、一部変更や短縮を伴いながらプログラムが進行されました。

メーデーは主催者（事務局長：学研労協副議長が担当）の挨拶で幕を開け、続いて各来賓の紹介がありました。実行委員長（学研労協議長が担当）の挨拶の後、降りしきる雨の影響で予定を少し早めて「メーデー宣言」の提案が行われ、全員の拍手をもって採択されました。参加者一同でスローガン「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう！」に賛同し、私たちの共通の目標と責任を改めて認識するものとなりました。

その後、雨が小康状態になったことから団体からの決意表明も無事に行われ、参加者が一丸となって団結の重要性と、労働者の権利の保護を訴えました。学研労協からも、国立研究機関の段階的な定年延長ならびに働きやすい職場と住みやすい地域の実現に関する決意表明がありました。悪天候で足元が悪い中でも、意義ある時間を共に過ごすことができたことに感謝いたします。終了後は、有志によるデモ行進が行われ、35名の参加者が雨にも負けず、市内を歩きました。

記録に残る限り最も荒天での開催となりましたが、引き続き、労働者の権利と生活を守るための活動を続けていく所存です。今年のメーデーにご参加いただいた皆様、そして支援してくださった方々に心より感謝申し上げます。